



開催日時 2013年 **10/19_土~20_日** 定員 800人

会場 富山国際会議場 〒930-0084 富山市大手町1-2 参加費 9,000円 (当日資料代含む)

参加申込について 添付の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、
取り扱い旅行会社に郵送、またはFAXにてお申し込みください。
詳しくは、別紙の参加登録のご案内をお読みください。

参加申込に関するお問合せ先 (株) JTBビジネスネットワーク JTB東北ECデスク
第6回「地域共生ホーム全国セミナー」inとやま係
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14ダイハツ・ニッセイ池袋ビル7F
TEL: 0120-989-960 FAX: 0120-937-224 E-mail: tohoku-ec@jbn.jtb.jp
＜営業時間＞ 土日祝除く平日/ 9:30 ~ 17:30

内容に関するお問合せ先 第6回「地域共生ホーム全国セミナー」inとやま実行委員会
＜事務局＞全国コミュニティライフサポートセンター (CLC) 担当: 小野寺・田村・高木
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1F
TEL: 022-727-8730 FAX: 022-727-8737
E-mail: clc@clc-japan.com URL: http://www.clc-japan.com

第6回

地域共生ホーム 全国セミナー

in
とやま

おかげさまで20周年

だれもが支えられたり、支えたり
「共生」とはどんな人でも排除しないで包み込むこと
赤ちゃんからお年寄りまで一つ屋根の下で過ごしている
その人なりの居場所があって、一人ひとりが輝いている
いつでも、いつまでも利用できる家
そんな居場所を考えて見ませんか

2013年
10/19_土~20_日

会場: 富山国際会議場

■主催: 第6回「地域共生ホーム全国セミナー」inとやま実行委員会
■共催: 富山ケアネットワーク
宅老所・グループホーム全国ネットワーク
全国コミュニティライフサポートセンター
■後援: 富山県/富山市/富山県社会福祉協議会/富山市社会福祉協議会

Supported by  **THE NIPPON
財団 FOUNDATION**

1993年、私たちの『思い』を『活動』にして、富山型デイサービスが生まれました。

「地域共生ホーム全国セミナー」in とやまは、2003年9月の第1回セミナーに続き、これまで5回のセミナーを開催し、

「お年よりも障がい者も子どもも一つ屋根の下で、通って、泊まって、住むことができる制度を」と提案がなされ、それらが『制度』をつくりました。

また、2013年4月から、このゆびと一まれが事務局となり、就労継続支援B型事業所（施設外就労）が活動を開始しました。

富山県の「とやま福祉特区」の一環です。

最近、被災地の復興にあたり、だれもが利用できる「共生型福祉施設」の設置を厚生労働省は積極的に推奨しています。

今回のセミナーでは、「生きづらい」人の声や、「こんな制度があったら、なかったら」などなど、本音で語り合ひましょう。



11:40～12:30	受付	
12:30～12:40	開会	第6回地域共生ホーム全国セミナー in とやま 実行委員長 惣 万 佳代子 富山県 知事 石 井 隆 一
12:40～13:10	オープニング	このゆびと一まれの20年 このゆびファミリーが登場します。成人式を全国の皆さんと祝います。
13:10～14:10	基調講演	「なぜ仕事をやめたくなくなるのか ～対人関係の悩みを解決し、対人関係から力をもらう～」 精神科医・医学博士 水 島 広 子
14:10～14:25	休憩	ロビーで話そう！つながろう！
14:25～15:35	ディスカッション	進化する「富山型デイサービス」の本音を語る!! 富山型によって生きられた人々「当事者」「家族」「事業者」が本音で語ります。 人間力こそ福祉の原点です。 ●コーディネーター にぎやか 代表 阪 井 由佳子
15:35～16:00	特別講演	「富山型地域共生福祉の推進」 富山県 知事 石 井 隆 一
16:00～16:15	休憩	ロビーで話そう！つながろう！
16:15～16:45	「はたらくわ」ってなに？（とやま福祉特区・就労継続支援B型事業所） 今までの作業場のイメージが変わります（はたらく人3人登場）。 はたらくわ サービス管理責任者 山 口 賢 一	
16:45～18:00	「若年性認知症と告げられてー日本も認知症の国家戦略を！ー」 埼玉県在住 佐 藤 雅 彦 神奈川県在住 中 村 成 信 宅老所・グループホーム全国ネットワーク 代表世話人 惣 万 佳代子 ●サポーター 厚生労働省老健局 局長 原 勝 則 ●コーディネーター 福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット 志の縁結び係&小間使い 国際医療福祉大学大学院 教授 大 熊 由紀子	



9:30～10:00	特別支援学校との連携をもって8年 連携のきっかけは「ケンカ」でした。立場は違っても「子どもを守りたい」思いは同じです。 富山県立高岡支援学校 校長 西 田 祐 伸 ふらっと 代表 宮 袋 季 美
10:00～10:40	「いい死に方やったちゃ」富山型デイサービスでの看取り 大空と大地のぼピー村 代表 宮 崎 弘 美 このゆびと一まれ 副代表 西 村 和 美
10:40～12:00	記念講演 「発達障害ママの爆笑子育て」 笹森理絵・史朗夫妻と子どもたち
12:00～12:55	ランチョンセミナー （ビデオ上映）「だってもられ！」
12:55～14:45	まとめのセッション 「地域共生ケアを まちの拠点に」 ●パネラー 日本福祉大学 教授 平 野 隆 之 富山ケアネットワーク 会長 惣 万 佳代子 富山市 市長 森 雅 志 内閣府 政策統括官（共生社会政策担当） 山 崎 史 郎 ●コーディネーター 福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット 志の縁結び係&小間使い 国際医療福祉大学大学院 教授 大 熊 由紀子
14:45～14:50	閉会

「あんた達のしようとしている事はどの制度にもあてはまらない」と言われて20年。今では、富山型デイサービスの理念が被災地へと広がりました。
多くの人達との出会いと別れがありました。おっぱいを飲んでいた子どもが高校生になりました。19人の方の看取りをさせてもらいました。成人式をむかえたこのゆびファミリーと全国の皆さんとで祝いたいと思います。

はたらくわを開所するのに準備したのは電話1本と巡回に要する車を数台用意しただけです。県内の富山型デイサービス10事業所に15人が働いていて、全員が施設外就労です。見学者から「作業場はどこにあるのですか？」と問われても、「ありません」と答えています。
はたらくわの「わ」は“和”の仲むつまじい、“輪”のまるくなる、つながる、つなぐという意味です。

富山型デイサービスと特別支援学校との連携協議会は今年で8年目を迎えます。毎回教育長が参加し、各富山型の代表と校長先生方が本音でぶつかり合う会議は前代未聞！これほど教育と福祉のネットワークが役に立っている会はありません。この会がどう生まれたのか、バトルの中から産み出された数々の取り組みを、世の障がいのある方々のくらしと育ち、学び、遊び、はたらくなどの視点で、熱く語り合います。

ママは小さいころからずっと人と違っていました。大人になってやっと、それは発達障害だからとわかりました。そして3人の息子たちもそれぞれ自閉症やADHDとの診断。辛い思いもたくさんしたけれど、それらを受け入れて今はポジティブに、楽しく生きています。笹森家の爆笑子育てを、夫婦でお伝えします。